

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年10月8日
【四半期会計期間】	第51期第2四半期（自平成26年6月1日至平成26年8月31日）
【会社名】	フロイント産業株式会社
【英訳名】	Freund Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伏島 巖
【本店の所在の場所】	東京都新宿区大久保一丁目3番21号
【電話番号】	03(5292)0240（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 伏島 柳二郎
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区大久保一丁目3番21号
【電話番号】	03(5292)0240（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 伏島 柳二郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	8,881,677	7,371,922	17,616,284
経常利益 (千円)	873,301	141,081	1,341,929
四半期(当期)純利益 (千円)	470,867	36,104	787,841
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	729,430	68,755	1,258,125
純資産額 (千円)	9,864,318	10,102,731	10,392,891
総資産額 (千円)	15,484,212	15,342,680	15,550,529
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	54.61	4.19	91.37
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.85	64.92	65.84
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	674,819	645,985	1,227,300
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	35,032	108,761	423,797
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	195,912	253,826	226,608
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,988,090	3,079,854	4,107,398

回次	第50期 第2四半期連結 会計期間	第51期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 6月1日 至平成26年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	18.77	7.66

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後の1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、各セグメントに係る主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

（化成品部門）

当社は平成26年3月1日に当社を存続会社とし、連結子会社であったフロイント化成株式会社を消滅会社とする吸収合併方式により合併いたしました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加えて、円安による原材料やエネルギー価格の上昇など、先行き不透明な状況で推移致しました。

当社グループの主要ユーザーであります医薬業界は、医療費抑制策の強化や研究開発費の高騰と開発リスクの増大などにより、先進国を中心に成長が鈍化しており、新興国への市場移行やジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発や、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の業績は、装置の出荷が下期に集中することや原材料価格の上昇、営業費用の増加等の影響を受け、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高73億71百万円(前年同期比17.0%減)、営業利益1億1百万円(同88.0%減)、経常利益1億41百万円(同83.8%減)、四半期純利益36百万円(同92.3%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

機械部門においては、受注高及び受注残高は医薬業界を中心に堅調に推移いたしました。装置の出荷が下期に集中することに加え、新興国市場進出へのコスト増加や国内における低採算案件の影響もあり、売上高、営業利益共に減少となりました。

この結果、売上高は40億43百万円(同29.5%減)、営業利益は1億25百万円(同83.5%減)となりました。

#### ・化成部門

化成部門においては、医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品の三部門とも堅調に推移し、売上高は増加となりましたが、円安を主因とした原材料価格の上昇等の影響により、営業利益は減少となりました。

この結果、売上高は、33億28百万円(同5.7%増)、営業利益は1億93百万円(同24.8%減)となりました。

#### (2)財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億7百万円減少し、153億42百万円となりました。増減の主な要因は、受取手形及び売掛金が84百万円、商品及び製品が93百万円、仕掛品が4億85百万円増加したものの、現金及び預金が10億33百万円減少したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、52億39百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億90百万円減少し、101億2百万円となりました。

#### (3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ10億27百万円減少し30億79百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、減少した資金は6億45百万円(前年同期は6億74百万円の増加)となりました。これは前受金の増加3億44百万円等の増加要因があったものの、仕入債務の減少56百万円、たな卸資産の増加6億57百万円、売上債権の増加1億12百万円、法人税の支払額1億64百万円といった減少要因があった為であります。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は1億8百万円(前年同期は35百万円の増加)となりました。これは定期預金の払戻による収入1億96百万円、保険積立金の解約による収入43百万円、差入保証金の回収による収入19百万円等の増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出1億11百万円、無形固定資産の取得による支出14百万円、資産除去債務履行による支出22百万円、定期預金の預入による支出2億12百万円等の減少要因があった為であります。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は2億53百万円(前年同期は1億95百万円の減少)となりました。これは主に配当金の支払額2億15百万円によるものであります。

#### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億99百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,200,000	9,200,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,200,000	9,200,000	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

当第2四半期会計期間において発行済株式総数、資本金等の増減はありません。

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日	-	9,200,000	-	1,035,600	-	1,282,890

## (6) 【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
伏島 靖豊	東京都豊島区	944	10.27
(株)エフ・アイ・エル	東京都新宿区大久保1-3-21	824	8.96
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	430	4.68
ビービエイチマシユーズ ジャパンファンド(常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行)	4 EMBARCADERO CTR STE 550 SAN FRANCISCO CALIFORNIA (東京都千代田区丸の内2-7-1)	386	4.20
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	372	4.04
(株)大川原製作所	静岡県榛原郡吉田町神戸1235	336	3.66
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	314	3.41
日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	279	3.04
フロイント従業員持株会	東京都新宿区大久保1-3-21	254	2.76
(株)静岡銀行(常任代理人日本マスタートラスト信託銀行(株))	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	184	2.00
計	-	4,326	47.03

(注) 上記のほか自己株式が、577千株あります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 577,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,620,200	86,202	-
単元未満株式( )	普通株式 2,100	-	-
発行済株式総数	9,200,000	-	-
総株主の議決権	-	86,202	-

( )「単元未満株式」の株式数の欄には、当社所有の自己株式22株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
フロイント産業(株)	東京都新宿区大久保1-3-21	577,700	-	577,700	6.28
計	-	577,700	-	577,700	6.28

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,600,568	3,567,122
受取手形及び売掛金	4,409,286	4,493,524
電子記録債権	-	977
商品及び製品	202,036	295,757
仕掛品	937,572	1,422,990
原材料及び貯蔵品	535,596	582,059
繰延税金資産	210,076	229,969
前払費用	123,403	116,481
その他	345,239	562,182
貸倒引当金	32,670	31,421
流動資産合計	11,331,109	11,239,644
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	991,603	935,783
土地	1,327,906	1,327,160
その他(純額)	732,616	726,386
有形固定資産合計	3,052,125	2,989,330
無形固定資産	178,301	169,876
<b>投資その他の資産</b>		
繰延税金資産	157,619	155,322
その他	842,670	793,580
貸倒引当金	11,296	5,075
投資その他の資産合計	988,992	943,828
固定資産合計	4,219,419	4,103,035
資産合計	15,550,529	15,342,680
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,068,855	1,655,191
電子記録債務	317,482	674,706
未払法人税等	170,561	145,958
前受金	926,851	1,251,794
賞与引当金	197,204	162,422
役員賞与引当金	65,000	25,000
資産除去債務	22,000	-
その他	634,769	608,204
流動負債合計	4,402,725	4,523,277
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	176,520	176,870
資産除去債務	15,253	15,404
負ののれん	26,656	22,759
その他	536,482	501,636
固定負債合計	754,912	716,670
負債合計	5,157,637	5,239,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,280,522	1,280,522
利益剰余金	8,335,593	8,156,140
自己株式	201,269	201,313
株主資本合計	10,450,446	10,270,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,934	17,716
為替換算調整勘定	226,280	328,086
その他の包括利益累計額合計	211,346	310,370
少数株主持分	153,791	142,153
純資産合計	10,392,891	10,102,731
負債純資産合計	15,550,529	15,342,680

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	8,881,677	7,371,922
売上原価	6,070,454	5,201,333
売上総利益	2,811,222	2,170,589
販売費及び一般管理費	1,967,341	2,069,510
営業利益	843,881	101,078
営業外収益		
受取利息	998	573
為替差益	7,017	4,709
受取技術料	7,379	5,957
保険解約返戻金	-	13,570
負ののれん償却額	3,897	3,897
その他	14,362	16,234
営業外収益合計	33,653	44,942
営業外費用		
支払利息	2,389	2,419
貸倒引当金繰入額	-	1,425
その他	1,844	1,095
営業外費用合計	4,234	4,939
経常利益	873,301	141,081
特別利益		
固定資産売却益	4,124	2,360
特別利益合計	4,124	2,360
特別損失		
固定資産売却損	-	375
固定資産除却損	448	2,247
特別損失合計	448	2,622
税金等調整前四半期純利益	876,976	140,819
法人税等	401,741	104,720
少数株主損益調整前四半期純利益	475,235	36,098
少数株主利益又は少数株主損失( )	4,368	5
四半期純利益	470,867	36,104

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	475,235	36,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,904	2,781
為替換算調整勘定	251,290	107,636
その他の包括利益合計	254,195	104,854
四半期包括利益	729,430	68,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708,383	62,919
少数株主に係る四半期包括利益	21,047	5,836

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	876,976	140,819
減価償却費	141,938	153,743
賞与引当金の増減額(は減少)	48,766	33,495
役員賞与引当金の増減額(は減少)	29,000	40,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	-	6,221
受取利息及び受取配当金	4,646	4,220
保険解約損益(は益)	220	13,570
支払利息	2,389	2,419
有形固定資産売却損益(は益)	4,124	1,984
有形固定資産除却損	-	2,247
売上債権の増減額(は増加)	327,322	112,170
たな卸資産の増減額(は増加)	118,990	657,749
その他の資産の増減額(は増加)	80,788	216,671
仕入債務の増減額(は減少)	19,701	56,950
前受金の増減額(は減少)	293,058	344,079
その他の負債の増減額(は減少)	86,800	424
その他	9,080	8,618
小計	1,104,874	508,769
利息及び配当金の受取額	4,646	4,220
利息の支払額	2,389	2,419
法人税等の還付額	30,729	24,999
法人税等の支払額	463,042	164,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	674,819	645,985
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	212,336
定期預金の払戻による収入	75,372	196,588
有形固定資産の取得による支出	63,054	111,255
有形固定資産の売却による収入	21,341	666
有形固定資産の除却による支出	415	-
無形固定資産の取得による支出	5,704	14,441
投資有価証券の取得による支出	1,012	1,041
保険積立金の積立による支出	4,557	4,171
保険積立金の解約による収入	12,655	43,118
差入保証金の差入による支出	147	3,456
差入保証金の回収による収入	299	19,853
預り保証金の返還による支出	-	285
預り保証金の受入による収入	255	-
資産除去債務の履行による支出	-	22,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	35,032	108,761

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	29,463	32,762
セール・アンド・リースバックによる収入	13,104	-
子会社の自己株式の取得による支出	7,696	-
配当金の支払額	171,857	215,217
少数株主への配当金の支払額	-	5,801
自己株式の取得による支出	-	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	195,912	253,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	86,202	18,970
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	600,142	1,027,544
現金及び現金同等物の期首残高	3,387,948	4,107,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,988,090	3,079,854

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

第1四半期連結会計期間より当社を存続会社として吸収合併したことによりフロイント化成株式会社を連結の範囲から除外しております。



(会計方針の変更等)  
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)  
税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)  
該当事項はありません。

## (四半期連結貸借対照表関係)

## 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
受取手形	- 千円	264,758千円
電子記録債権	-	208
支払手形	-	43,284
電子記録債務	-	215,363

## (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
給与手当	539,508千円	531,036千円
賞与引当金繰入額	128,817	97,152
役員賞与引当金繰入額	57,000	25,000
退職給付費用	22,770	25,877

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
現金及び預金勘定	4,168,031千円	3,567,122千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	179,942	487,268
現金及び現金同等物	3,988,090	3,079,854

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	172,447	20	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

## 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	215,557	25	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,733,274	3,148,402	8,881,677	-	8,881,677
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,733,274	3,148,402	8,881,677	-	8,881,677
セグメント利益	758,810	257,025	1,015,836	171,955	843,881

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 171,955千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
7,286,142	813,797	548,965	232,772	8,881,677

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 北米 .....米国、カナダ

(2) 欧州 .....フランス、英国等

(3) その他.....中南米、アジア等

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,043,786	3,328,135	7,371,922	-	7,371,922
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,043,786	3,328,135	7,371,922	-	7,371,922
セグメント利益	125,290	193,240	318,531	217,452	101,078

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 217,452千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
5,871,277	696,989	109,814	693,840	7,371,922

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 北米 .....米国、カナダ

(2) 欧州 .....フランス、英国等

(3) その他.....中南米、アジア等

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	54円61銭	4円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	470,867	36,104
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	470,867	36,104
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,622	8,622

(注) 潜在株式調整後の1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月8日

フロイント産業株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員

業務執行社員                      公認会計士                      佐藤 明典                      印

指定有限責任社員

業務執行社員                      公認会計士                      神山 宗武                      印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフロイント産業株式会社の平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フロイント産業株式会社及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。